

世界初の距離無制限・人数無制限を実現したミッドランド専用インカムアプリ「BT TALK」!

BT TALK ミッドランドインカム専用アプリ

ツーリングに出る仲間と合流する前から通話ができ、急な待ち合わせ場所や時間の変更など、よりリアルタイムでのコミュニケーションが可能に。また人数の制限もないで、マスクツーリングなど大人数での情報共有も可能となり、これまでと違った新しいツーリングスタイルを楽しむことができる。



スマホから無料でダウンロード! [App Store からダウンロード](#) [Android アプリ Google Play](#)

*BT TALKは従来のBlueToothによる通信に加え、スマホのデータ通信を用いるため、スマホのデータ通信料がかかります。

BT TALKを使ってみよう

- 1** インカムアプリ「BT TALK」をインストールする
今はアンドロイドなので、Google PlayからBT TALKをインストール。BTTボタンの取扱説明書に2次元コードが印刷されている。
- 2** 初期設定コードをSMSで受け取る
インストールが終了したらアプリを立ち上げ初期設定をする。SMSで初期設定用コードが来るので、「電話番号」欄に最初の0を除いた携帯番号を入力する。
- 3** 初期設定コードを入力する
コードが届いたら入力欄にインプットしよう。
- 4** アカウントを登録しよう
続いて自分のアカウントを登録する。イメージとニックネームは自由に設定できる。
- 5** 友達を追加しよう
コンタクトリストにアプリをインストールしている友達が表示される。スマートフォン側の電話帳に番号が登録され、かつアプリを起動中であれば、自動的にリストへ加わる仕組みになっている。
- 6** グループを作ろう
アプリでトークを始めるためのグループを、任意の名前で作成が可能。自分が作ったグループは、⑥で友達に加わったアプリのユーザーが、確認し参加することができる。
- 7** BTTボタンをリンクさせる
次にBTTボタンをリンクさせる。スマホのBluetooth検索画面で検索するとBTTボタンが表示されるのでタッチして登録する。インカムと接続されているうまいかない場合があるので、インカムはOFFにしておこう。
- 8** 使い方はとっても簡単!
画面上のボタンアイコンが青くなればリンク完了。インカムを立ち上げると自動で再接続される。どちらもインカムアイコンが青くなればリンク完了。あとはBTTボタンを押している間だけ、グループ全員に自分の声が聞こえる。



相手の位置が地図上で確認できる

※道路交通法、都道府県条例や道路交通法施行細則などで運転中音楽を聞くこと自体が禁止・制限される、もしくは音楽を聞くための装置(ヘッドフォン等)の使用、装着が禁止・制限されている場合本製品は使用できません。※本製品を使用する際は必ずまわりの音が聞こえる程度に音量を調整してご使用下さい。スピーカーをヘルメットの左右に装着する場合音は両方の耳に聽こえ、結果として外部の音が聴きにくくなり、音楽等連続した音を聴く場合特にその影響が顕著です。音量は最低限に調整してお使い下さい。※本製品を「通話」に使用する場合、左側のスピーカーのみの取付けをお奨めします。通話音声を聴く目的ならば片耳でも十分に聞こえ、両耳にすると音質が良くなる訳ではありません。製品を正しく使い楽しいバイクライフをお楽しみ下さい。

世界初! 専用アプリで世界中の仲間とつながるツーリング革命モデル

スマホ用専用アプリBT TALKと連携して「距離無制限」「人数無制限」でつながり、相手の位置がリアルタイムでわかる驚きのインカムBT PROシリーズが登場!
通信距離と搭載機能で選べる3モデルから、今回はミドルクラスのBT X2 PROをご紹介!

BT X2 PRO QQ1-LIK-199-462 ツインパック 44,280円(本体価格41,000円)



最大通信距離1,000m。世界初他社インカム通信を可能にした、ユニバーサルインターラム機能。4人同時通話機能、FMラジオ、ミュージックシェア機能*搭載。

*ミュージックシェア機能はライダーとパッセンジャー間のみ有効。



BTX2 PROをヘルメットへ取り付け

今回は新発売のシステムヘルメットYJ-19に装着してみよう
あらかじめ本体を充電しておこう。**1**本体はヘルメットの左側に装着する。ベースプレートがきちんと貼れて、操作しやすい場所を選ぼう。もちろん接着面はキレイにしておこう。**2**スピーカーを装着していく。YJ-19はあらかじめスピーカースペースが配慮されているのでとても取り付けやすい。**3**チークパッドを外し、マイクを貼り付ける。マウスガードを閉めたときにマイクが口の前に来るようしよう。**4**本体を取り付け、余分なコードをうまく内装の下に収めていけば完成だ。



スマートフォンとのペアリング 続いてスマートフォンとペアリングする

1 電源OFFの状態から赤色LEDが点灯するまでコントロールボタンを7秒間長押しし、**2**ボリューム(+)ボタンを3秒間長押ししてペアリングモードに入ると、赤色/青色LEDが交互に点滅。**3**スマートフォンのBluetooth設定からBT X2 PROを選択。パスワード「0000」と入力。青色LEDがゆっくり点滅をはじめたらペアリング完了だ。機種によってはパスワード入力が不要な場合もある。



ブレーキライト機能(意匠登録申請中)は、ホルダーハンドル後端に赤色ライトを装備。インターラム内蔵の3Gセンサーが急減速を検知すると点滅。自分自身の急減速を後方の車両に知らせる安全装置である。

携帯と接続しかしないというシンプル派には、お手軽モデルもラインナップ!

BT CITY QQ1-LIK-197-512 シングルパック 12,960円(本体価格12,000円)



街乗りバイクエンターテイメントシステムBT CITY。ライダーを含め、2人とインターラム通話が可能で、通話距離は、200m。YJ-5Ⅲ ZENITHへの取付と、スマートフォンとのペアリングを実践。



標準同梱品はジェットヘルメットを想定している。フルフェイスヘルメットに取り付けするにはオプションのBTオーディオキット(¥3,780)とBT取り付けクリップ(¥2,052)が必要になる。

ジェットタイプヘルメットに装着可能